

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山極勝三郎生誕150周年記念シンポジウムの開催
事業主体 (連絡先)	山極勝三郎博士顕彰会 (代表幹事 岡崎光雄 上田市中央4-7-33、Tel0268-22-0149、Fax0268-22-0199)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト事業
総事業費	1,000,345円 (うち支援金: 750,000円)

事業内容

山極博士の世界初の人工癌発生実験成功の偉業を広く普及するため、山極勝三郎生誕150周年記念シンポジウムを市民公開講座として上田市(10月19日(土)、於文化会館)と松本市(7月12日(金)、於ホテルヴェナビスタ)で開催した。山極博士直系の東大医学部病理学講座の宮園浩平教授らの講演に、聴衆は感銘を受け大変好評であった。



【講演風景】

事業効果

2人に1人ががんになる時代、100年前の世界初の人工がん発生成功の偉業は、改めて市民に感銘を与えた。今日のがん医療の進歩は博士の研究に負うところが大きであることが分かり、郷土の誇りであることを認識せしめた。なお、博士の生家の菩提寺・浄楽寺も意義に感じ勝三郎生誕150周年記念碑を建立し、遺族、大学の弟子たちが参列し、シンポジウムに先立ち盛大な除幕式が行われた。

※1 自己評価 (事業実施率) 【A】

【目標・ねらい】

- 山極勝三郎の偉業の普及
- 郷土の偉人に誇りを持つ
- がんを改めて考えてみる
- 郷土の偉人の顕彰の推進

※2 自己評価 (事業効果) 【A】

今後の取り組み

世界初の人工がん発生成功(1915年)100周年記念に向けて準備を行い、2015年には郷土上田で、又全国、国際的にもこの偉業を顕彰して行く。博士の偉業を子供たちにも知ってもらうため、小中学校で課外授業を行い、郷土に誇りを持って貰う。なお山極博士の展示場(上田市柳町、労働者福祉協議会会場)の充実を図り、博士の偉業を市民にも普及し、将来は記念館の設立につなげたい。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。
 ※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある